

- 山本義丸 (1953) 兵庫県丹波地方の葉虫相.
兵庫生物 2 (3) :133 .
- 山本義丸 (1958) 兵庫県水上郡昆虫目録.
Natura 特別号, 水上の自然第3集 :97.

ヒラズゲンセイ三木市に産する

森 和 夫

ヒラズゲンセイ *Cissites cephalotes* Olivier は、トサヒラズゲンセイとも呼ばれる南方系の甲虫である。特異な体形、橙色の鮮やかな色彩と異臭、クマバチに寄生するという生態からしても珍虫に値する。南国である高知県においても稀なもののようなものである〔げんせい38.39 特集号 P. 57(1980) 参照〕。

今回、三木市において採集されたヒラズゲンセイを頂いた。三木市においては初めての記録であると考えられるので、下記のように報告する。

7月14日、神戸電鉄沿線の栄で開催された神戸生物クラブの例会に参加した際、植物関係を指導されておられる水野浩典先生と清水美恵子先生とに帰路ごいっしょになった。

この時、清水先生から「トサヒラズゲンセイを自宅で採集したが、四国や九州等の南方にいる珍しい虫ではないか？」とおっしゃってフィルムケースに入った1♂を出してこられた。全く思いがけない場所での珍種であり、採集された際の状況等も同った。

また、この個体の他にもう1頭採集し、御自宅に保管されておられるとのことであった。御自宅は、栄駅から2駅目で、すぐ近くであったため招待して頂いた。

もう1頭は♀であり、まだ生きていた。

また、採集された庭の環境も拝見させて頂いた。庭には溢れる程の種々の草木が植わっていて、採集された場所には、クマバチが吸蜜によく集まるといふ藤棚があった。

この藤棚は、丸太と竹を組み合わせたもので、よく見ると丸太の部分には丸い穴が開いていて、クマバチの巣であることがわかった。

御伺いした採集データは次の通りであった。

1) 採集地 ; 三木市緑ヶ丘町東

2) 採集者 ; 清水美恵子先生

3) 採集日等

① 22, VI, 1993. 1♂

庭のバケツの中に落ち込んでいたものを見付け、一度、逃がしたが、アジサイの葉上に止まっているものを採集。

② 6, VII, 1993. 1♀

縁側を這っているものを採集。

♀の個体は、生きていたものを頂いたため持ち帰った後、空瓶に木の葉を入れて飼ったところ7月26日迄生きていた。

標本は、いずれも筆者が保管している。

なお、筆者は、以前に神戸市藍那において本種1♂を採集し報告したことがある〔きべりはむし Vol. 14(2)P. 36 (1986)〕。

藍那へは、その後、7月上旬頃に2度調査したが、再発見することができずにいた。

藍那が、この付近では最も自然が残っている山間部であるのに反し、今回の採集地は、20年程前に開発されたという広い住宅地の真中にある。本種の飛翔は、部屋の中で飛ばした限りでは、余力強いものではなかった。とても、長距離を一挙に移動し分布を拡大する力は無さそうである。しかし、1齢幼虫のときクマバチの体毛に取り付き、巣まで運ばれて寄生するとのことであるため、この方法で周辺部の発生地から分布を広げてきた可能性が高い。

周辺部を精査すれば、もっと発生地が発見されそうである。なお、当地は藍那より北西約8kmの地点であるため、現時点においては国内の最北限の産地と考えられる。

最後に、貴重な標本を御恵与下さった上、生息環境も観察させて頂いた清水先生には、厚く御礼申し上げます。